

平成 17年  
12月21日

# 病害虫発生予報 1月号

茨城県病害虫防除所  
茨城県植物防疫協会

安全・安心な農作物は、農薬使用の記録と農薬使用基準の遵守から！

農薬の総使用回数は「有効成分」で規制されます

## < 目次 >

### ・ 今月の予報

#### 【注意すべき病害虫】

促成ピーマン：アザミウマ類，コナジラミ類	1
イチゴ：うどんこ病	1
促成トマト：シルバーリーフコナジラミ	2
促成キュウリ：うどんこ病，褐斑病	2

【その他の病害虫】	3
促成トマト，促成キュウリ	

### ・ 病害虫ミニ情報

施設野菜に発生する灰色かび病の防除対策について	3
農薬登録速報(11月)の概要	4

### ・ 病害虫資料室

今月号のミニ情報から(施設野菜の灰色かび病)	6
------------------------	---

### ・ 今月の気象予報

### ・ テレホンサービス

普通作物	029(226)5321
園芸作物	029(226)6131

本文に記載された農薬の登録内容は、平成17年12月21日現在のものです。  
農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用基準、注意事項等を確認してください。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。  
茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445  
予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。  
ホームページアドレス <http://www.jpnn.ne.jp/ibaraki/>

・今月の予報  
【注意すべき病害虫】

促成ピーマン

1. アザミウマ類  
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	多い	鹿行地域

[予報の根拠]

12月下旬現在，寄生花率，発生地点率とも平年より高い。  
ピーマンハウス内は，加温により夜間も温度が高く，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

生息密度が高くなると果実に被害を及ぼすため，発生の少ないうちに防除を徹底する。  
薬剤抵抗性の発達を避けるため，同系統薬剤の連続散布は行わない。また，薬剤の選択に当たっては，収穫前日数等に注意する。

2. コナジラミ類  
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
-	多い	鹿行地域

[予報の根拠]

12月下旬現在，寄生葉率8.8%，発生地点率75%で，先月に比べ増加傾向である。  
ピーマンハウス内は，加温により夜間も温度が高く，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

生息密度が高くなると果実にススを生じるため，発生の少ないうちに防除を徹底する。  
薬剤抵抗性の発達を避けるため，同系統薬剤の連続散布は行わない。また，薬剤の選択に当たっては，収穫前日数等に注意する。

イチゴ

1. うどんこ病  
[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

12月下旬現在，発病葉率は平年並で，発生地点率は平年よりやや高い。

[防除上注意すべき事項]

罹病した葉や果実などは，ハウス内に放置せずにハウス外へ持ち出し，土中深く埋める。  
果実に発生すると被害が大きくなるため，防除を徹底する。「とちおとめ」は，うどんこ病が発生しやすいため，特に注意が必要である。  
薬剤は，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。  
薬剤耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。

## 促成トマト

### 1. シルバーリーフコナジラミ

#### [ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
-	多い	県下全域

#### [ 予報の根拠 ]

12月下旬現在，寄生葉率，発生地点率とも平年より高い。

#### [ 防除上注意すべき事項 ]

本作型では，これまで本種の発生を認めていない(12～4月調査)ので，今後の発生には注意が必要である。

発生が多くなると，防除が困難となる。また，本種により果実の着色異常が引き起こされるため，発生初期に防除を徹底する。

本種は葉裏に寄生するため，薬剤散布は，薬液を下方から吹き上げるようにするなど，葉裏にも十分かかるよう丁寧に行う。

## 促成キュウリ

### 1. うどんこ病

#### [ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

#### [ 予報の根拠 ]

12月下旬現在，発病葉率は平年よりやや高く，発生地点率は平年より高い。

#### [ 防除上注意すべき事項 ]

ハウス内が高湿多湿になると発生しやすくなるので，午前中に換気を行う。

まん延すると防除が困難となるため，発生の少ないうちに防除を徹底する。

薬剤は，十分な量で丁寧に散布する。また，耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。

### 2. 褐斑病

#### [ 予報内容 ]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

#### [ 予報の根拠 ]

12月下旬現在，発病葉率は平年並で，発生地点率は平年よりやや高い。

#### [ 防除上注意すべき事項 ]

ハウス内が高湿多湿になると発生しやすいため，午前中に換気を行う。

発生の少ないうちに，防除を徹底する。

新たな伝染源とならないよう，病斑部は取り除いてハウス外に持ち出し処分する。

薬剤は，十分な量で丁寧に散布する。また，耐性菌の出現を防ぐため，同系統薬剤の連続散布は行わない。

## 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
促成 トマト	灰色かび病	発生量：平年並	12月下旬現在，平年並の発生である。向こう1か月の気温は平年より低く，日照時間は平年並と予想されており，ハウス内は発生を助長する条件ではない。
促成 キュウリ	べと病	発生量：平年並	12月下旬現在，平年並の発生である。ハウス内が高湿多湿になると発生しやすくなるので，午前中に換気を行う。

### ・病害虫ミニ情報

## 施設野菜に発生する灰色かび病の防除対策について

### 灰色かび病の防除対策について

灰色かび病は，野菜，花き，果樹など多くの作物を侵す多犯性の病害です。好適条件下ではまん延が速いため，しばしば大きな被害をもたらします。

本年は，12月下旬現在，施設野菜における発生は平年並となっています。気象予報によると，向こう1か月の気温は低く晴れの日が多いと予想されており，ハウス内は灰色かび病の発生を助長する条件にはなりにくいと予想されます。これは，気温が低いと暖房機の稼働時間が長くなったり，日中晴れると換気が行われたりして，ハウス内が除湿されやすくなるためです。

灰色かび病は，多湿条件下で発生が多くなるため，本年は当面は発生が助長される要因は少ないと考えられます。しかし，今後気温が上昇するなど，ハウス内が発生に適した条件に転じた時に備え，以下の基本事項に注意して対策を講じてください。

**耕種的防除：**栽培管理では，灰色かび病が発生しやすい環境にしないことが重要です。昼近くなっても作物に水滴が残っている場合は，ハウス内が過湿状態なので，換気，送風，暖房等により除湿して下さい。また，灰色かび病が発生した場合は，発病部が伝染源となるため，取り除いてハウス外に持ち出し直ちに処分して下さい。

**薬剤防除：**灰色かび病は，発生に適した条件が続いた場合や発生初期の防除が特に重要です。上記の耕種的対策を講じたうえで，薬剤による防除を実施するか判断してください。その際，耐性菌の出現を避けるために，同系統薬剤の連続使用，多用は避けてください。

また，農薬名(商品名)が異なっても同一の有効成分を有する剤もありますので，有効成分での使用回数をオーバーしないよう十分注意してください。

灰色かび病に対する登録薬剤は多数ありますが，防除効果の低下が認められる薬剤もあります。ある薬剤を散布しても十分な防除効果が得られなかった場合，ハウス内が灰色かび病の発生しやすい条件になっている，薬剤の選択が適切でない，薬剤耐性が発達している，など複数の原因が考えられます。十分に防除できなかった場合でも，それを直ちに薬剤耐性の発達によるものと決めず，上記の基本事項を踏まえたとうえで原因に合った対策を講じてください。

## 農薬登録速報（11月）の概要

平成17年11月期間中（11/1～11/30）に新規・変更登録のあった農薬は、以下のとおりです。なお、農薬の使用にあたっては、必ずラベル等を確認してください。

殺虫剤・殺菌剤・殺虫殺菌剤・殺そ剤等

新規> アークリン水和剤，クミアイストライド顆粒水和剤，ストライド顆粒水和剤，  
ホクコーオ尔特ランアドマイヤー顆粒水和剤，協友ダントツ箱粒剤，  
協友ダントツ粉剤DL，兼商ストライド顆粒水和剤，三井東庄アークリン水和剤，  
石原ツヤバラリ

変更> DASソイリーン，アクタラ顆粒水溶剤，アグロスリン乳剤，アディオソル乳剤，  
アブロードフロアブル，アミスターオブティフロアブル，  
アルバリン顆粒水溶剤，インプレッション水和剤，ウィルド顆粒水和剤，オ尔特ラン粒剤，  
カルホス微粒剤F，キノンドーフロアブル，クミアイアグロスリン乳剤，  
クミアイコサイドDF，クミアイコテツフロアブル，クミアイスマチオン乳剤，  
クミアイダズバン水和剤25，クミアイダズバン乳剤40，  
クミアイパスポートフロアブル，クミアイブロードワン顆粒水和剤，  
クミアイペンコゼブ水和剤，クミアイラピライト水和剤，グリーンエイト顆粒水和剤，  
コテツフロアブル，コロマイト乳剤，サンケイアディオソル乳剤，サンケイスマチオン乳剤，  
サンケイスマチオン乳剤70，サンケイバッサ粉剤30DL，サンケイマラソン乳剤，  
ジェイエース水溶剤，ジェイエース粒剤，スイッチ顆粒水和剤，スタークル顆粒水溶剤，  
ストロビーフロアブル，スミブレンド水和剤，ソイリーン，ダズバン水和剤25，  
ダズバン乳剤40，ダントツH粉剤DL，ダントツ水溶剤，ダントツ粒剤，  
ツインサイドDF，ナガセコサイドDF，ナガセラービンベイト2，バリアード顆粒水和剤，  
ヒットゴール液剤AL，ビルダーアドマイヤー箱粒剤，プリンスフロアブル，  
ブルースカイスティック，ブロードワン顆粒水和剤，プロバドスティック，  
ペイオフME液剤，ベストガード粒剤，ベニカ水溶剤，ホーマイコート，  
ホーマイ水和剤，ホクコーアディオソル乳剤，ホクコーオ尔特ランマク水和剤，  
ホクコーオ尔特ラン粒剤，ホクコーゲッター水和剤，ホクコースタークル顆粒水溶剤，  
ホクコースマチオン乳剤，ホクコースミブレンド水和剤，  
ホクコーバッサ粉剤30DL，ホクコービルダーアドマイヤー箱粒剤，  
ホクコーマラソン乳剤，ホライズンドライフロアブル，ポリオキシソルAL水溶剤「科研」，  
ポリベリン水和剤，マネージDF，マラソン乳剤，モスピラン・トップジンMスプレー，  
モスピラン液剤，モスピラン水溶剤，ヤシマアディオソル乳剤，ヤシマゲッター水和剤，  
ヤシマコテツフロアブル，ヤシマサイアノックス水和剤，ヤシマスマチオン乳剤，  
ヤシマスマチオン乳剤70，ヤシマバッサ粉剤30DL，ヤシママラソン乳剤50，  
ラービンベイト2，ラピライト水和剤，ラリー水和剤，ルミライト水和剤，  
一農マラソン乳剤，家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン粒剤，家庭園芸用武田オ尔特ラン粒剤，  
金鳥アディオソル乳剤，金鳥スマチオン乳剤，金鳥デランT水和剤，兼商デミリン水和剤，  
三井ソイリーン，三井東庄アルバリン顆粒水溶剤，三共アディオソル乳剤，  
三共コサイドDF，三共サイアノックス水和剤，三共スマチオン乳剤，  
三共バッサ粉剤30DL，三共バリアード顆粒水和剤，三共フロンサイドSC，  
三共フロンサイド水和剤，三共フロンサイド粉剤，三共ペンコゼブ水和剤，  
三共マラソン乳剤，三共デナポン粒剤5，三共ラービンベイト2，住化ゲッター水和剤，  
住化スマチオン乳剤，住化スマチオン乳剤70，住友サイアノックス水和剤，  
住友化学バッサ粉剤30DL，石原フロンサイドSC，石原フロンサイド水和剤，  
石原フロンサイド粉剤，双商マラソン乳剤，日産ストロビーフロアブル，  
日産スマチオン乳剤，日産ダズバン水和剤25，日産ダズバン乳剤40，

日産ホライズンドライフフロアブル，日産マラソン乳剤，日産ルビゲン水和剤，  
日産レルダン乳剤25，日曹ゲッター水和剤，日曹コテツフロアブル，  
日曹ストロビーフロアブル，日曹デランT水和剤，日曹フロンサイドSC，  
日曹フロンサイド水和剤，日農アクテリック乳剤，日農アグロスリン乳剤，  
日農スミチオン乳剤，日農スミブレンド水和剤，日農マラソン乳剤，日農モスピラン水溶剤，  
武田アクテリック乳剤，武田オルトラン粒剤，武田スミチオン乳剤，  
武田パスポートフロアブル，武田マラソン乳剤，明治マネージDF，理研スミチオン乳剤

#### 除草剤等

新規> クサキングエースフロアブル，ネコソギクイックプロFL，リプロ液剤，  
協友イッテツ1キロ粒剤，協友イッテツフロアブル，協友オードラム粒剤，  
協友クラッシュ1キロ粒剤，協友クラッシュEXジャンボ，協友ベルーフ粒剤，  
協友マメットSM1キロ粒剤，協友マメット粒剤，協友農将軍フロアブル

変更> GF草退治V粒剤，SDSクサパンチ1キロ粒剤，アグロスアグロスター1キロ粒剤，  
エイトアップ液剤，キャピタルグリホサート41%，クサクリーン液剤，クサノンDX粒剤，  
クサパンチ1キロ粒剤，クサブロー，グリホエクス液剤，ザッソノン粒剤，サンフーロン液剤，  
セレクトTM乳剤，セレクト乳剤，タッチダウンiQ，プリグロックSL，マイゼット，  
マルガリーダ，ヤシマクサパンチ1キロ粒剤，ラーチH粒剤，ラーチ粒剤，  
ラウンドアップハイロード，日産アグロスター1キロ粒剤

#### 植調剤等

変更> CX-10，石原エスレル10，日産エスレル10

#### 失効農薬

BASFバスマイド微粒剤，アグロスインパルス水溶剤，インパルス水溶剤，  
クミアイインパルス水溶剤，クミアイパダンビーム粒剤，クミアイビーム水和剤，  
クミアイビーム水和剤75，クミアイヒノザンアドマイヤー粉剤DL，  
クミアイヒノバイアドマイヤー粉剤DL，クミアイモンセレンアドマイヤー粉剤DL，  
クミアイ草当番，グリーンT-7.5乳剤，ダイセックSM粒剤，ダブルキラー，  
チバガイギー・ゴルボ1キロ粒剤51，チバガイギー・ゴルボ1キロ粒剤75，  
チバガイギー・ライザー1キロ粒剤20，トモノオーソサイド水和剤80，  
トモノスミチオン乳剤，ハーディDF，ビームカヤフォス粒剤，  
ビームバシランガード粉剤5DL，ビームランバシボン粉剤5DL，ビーム水和剤，  
ホクコーモーダウン粒剤，モンサントインパルス水溶剤，  
ヤシマヒノザンアドマイヤー粉剤DL，ヤシマモーダウン粒剤，  
ライザー1キロ粒剤20，三共インパルス水溶剤，石原ライザー1キロ粒剤20，  
大塚ライザー1キロ粒剤20，日産ハーディDF，日農エス乳剤

農薬の登録失効は，同一成分の農薬においても販売メーカー毎になりますので，ご注意願います。

**【今月号のミニ情報から】**

病害虫防除所ホームページ上で、写真をご覧ください。

**施設野菜**

灰色かび病

発生地域： 県下全域

発生生態と被害：灰色かび病は、野菜、花き、果樹など多くの作物を侵す多犯性の病害である。本病は、20 前後の温度で湿度が高く、日照が少ないときに発生しやすくなる。また、まん延が速いため、助長条件が続いて多発生すると防除が難しい。

施設では、平年並の気象であれば、2～3月に発生し始めるが、暖冬等の影響で気温が高い場合や曇雨天が多い場合は、平年より早い時期から発生する傾向がある。これは、ハウス内温度が上がり、暖房機の稼働時間が短くなるなどして施設内の湿度が上昇するためである。

防除のポイント：灰色かび病は多湿条件を好むため、湿度を低く保つ対策をとることが重要である。昼近くなっても作物の葉上に水滴が残る場合は、換気、送風、暖房等により施設内の除湿を徹底する。また、ハウス内に伝染源を残さないため、被害部位を徹底して取り除いてハウス外に持ち出すことも重要な防除対策である。

上記のような耕種的対策を講じたうえで、必要に応じて薬剤による防除を実施する。

写真1 トマト果実の病徴

写真2 トマト葉の病徴

写真3 イチゴ葉の病徴

写真4 ピーマン茎の病徴

## ・ 今月の気象予報

### 関東甲信地方 1 か月予報

( 予報期間 12月17日から1月16日 )

気象庁 ( 12月16日 発表 )

< 向こう 1 か月の気温 , 降水量 , 日照時間の各階級の確率 ( % ) >

[ 確率 ]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	70	20	10
降水量	関東甲信全域	30	40	30
日照時間	関東甲信全域	30	40	30

[ 概要 ]

天気は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう 1 か月の平均気温は低いでしょう。降水量は平年並でしょう。日照時間は平年並でしょう。

< 1 週目の予報 > 12月17日(土曜日)から12月23日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い

< 2 週目の予報 > 12月24日(土曜日)から12月30日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い

< 3 週目から 4 週目の予報 > 12月31日(土曜日)から1月13日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い

## ・ テレホンサービス

下記の情報を 24 時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病虫害の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

普通作物 029 ( 226 ) 5321

1 月上旬 農薬の保管管理について

下期 農薬の安全使用について

2 月上旬 水稻育苗中の病害対策とその準備について

園芸作物 029 ( 226 ) 6131

1 月上旬 農薬の安全使用について

中旬 施設野菜病虫害の発生現況と防除対策について ( 1 )

下旬 農薬の保管管理について

2 月上旬 施設野菜病虫害の発生現況と防除対策について ( 2 )